

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024 年 6 月 29 日

尼崎市長 殿

提出者

住所 大阪市中央区城見1-2-27クリスタルタワー10F

氏名 旭化成ホームズ株式会社
住宅事業関西・西日本営業本部
技術部長 櫻井 直樹

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6942-8987



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	旭化成ホームズ株式会社 住宅事業関西・西日本営業本部
事業場の所在地	大阪市中央区城見1-2-27クリスタルタワー10F
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	5879百万円
③従業員数	685名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	解体現場及び新築現場から発生した産業廃棄物については、がれき類 木くず ガラスくず 廃プラ 金属くず 紙くず は破碎され再生処理がなされるよう委託しております。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図) 別紙参照	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量		t
	(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組) 材料のプレカット化 梱包材のリターナブル化 材料発注の厳密化による余剰材のカット		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量		t
	(今後実施する予定の取組) (今後実施する予定の取組) 施工方法の改善による各工程での産廃削減。 養生材の徹底的使い回し。		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新築現場においては現在26分別（木くず、金属くず、廃プラスチック、紙くず、がれき類、ガラス陶磁器くず等）で排出を行っています。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新築現場においては排出される品目が限られているためより細かい品目で分別を行いより再生・再利用・減量化を目指す

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

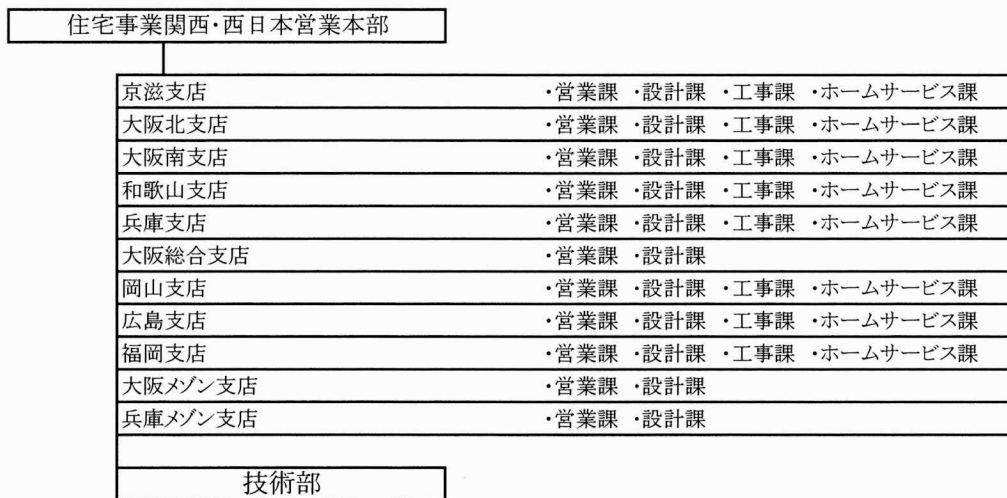
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 再資源化の高い且つ情報公開を進んで行っている業者を選定しています。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	再生利用が可能な品目については再生利用業者に処理委託を行う。		

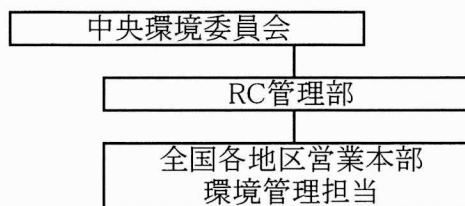
別紙

関西営業本部における産業廃棄物担当者及び管理組織図

統括責任者	住宅事業関西・西日本営業本部 技術部長
廃棄物担当	住宅事業関西・西日本営業本部 技術部 環境管理担当 2名
廃棄物担当の役割	<ol style="list-style-type: none"> 1. 廃棄物の収集運搬・中間処理・最終処分・再生利用等適正処理の推進及び管理 2. 廃棄物処理計画の策定 3. 廃棄物管理状況の把握及び改善等の検討・立案 4. 収集運搬業者・中間処理業者・最終処分業者・再生利用業者の調査・選定及び管理 5. 委託契約の締結 6. 監督官庁への各種報告 7. 社員・関係会社・下請工事店等に対する教育・啓発



本社における産業廃棄物管理組織図



産業廃棄物処理計画書の〔集計用シート〕

産業廃棄物の種類	① 排出量(t)		④ 直接及び自ら自己処理した後の処理委託量(t)		⑤ = ① - ② - ③ - ④ + ⑥ - ⑦ - ⑧ = ⑨ + ⑩ + ⑪ + ⑫ + ⑬												⑭ + ⑮ 自ら再生利用を行った量(t)		⑯ + ⑰ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)	
					委託先による区分															
					② 再生利用業者への処理委託量(t)		③ 熱回収認定業者への処理委託量(t)		⑥ 熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)		⑦ その他の中間処理委託量(t)		⑧ 埋立処分委託量(t)		⑩ 優良認定処理業者への処理委託量(t)					
当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量		中間処理及び最終処分を委託した量		⑨の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑬、⑭除く)		⑨の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量		⑨の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量		⑨の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量(⑭～⑯を除く)		⑨の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量		⑩の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量		⑭の量と⑮の量を合計したもの(自動計算)		⑯の量と⑰の量を合計したもの(自動計算)		
	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標
燃え殻																	0	0	0	0
汚泥																	0	0	0	0
廃油																	0	0	0	0
廃酸																	0	0	0	0
廃アルカリ																	0	0	0	0
廃プラスチック類	24	22	24	22	24	22											0	0	0	0
ゴムくず																	0	0	0	0
金属くず	219	197	219	197	219	197											0	0	0	0
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	45	40	45	40	45	40											0	0	0	0
鋸さい																	0	0	0	0
がれき類	658	592	658	592	658	592											0	0	0	0
ばいじん																	0	0	0	0
紙くず	12	11	12	11	12	11											0	0	0	0
木くず	155	139	155	139	155	139											0	0	0	0
繊維くず																	0	0	0	0
動植物性残渣																	0	0	0	0
動物系固形不要物																	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	4	3	4	3									4	3			0	0	0	0
廃石膏ボード																	0	0	0	0
混合廃棄物(安定型)	58	52	58	52	58	52											0	0	0	0
混合廃棄物(管理型)																	0	0	0	0
																	0	0	0	0
																	0	0	0	0
合計	1,176	1,056	1,176	1,056	1,172	1,053	0	0	0	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0	0